

# NEWS

## みずなみ

### 会議所ニュース

発行所 瑞浪商工会議所  
〒509-6121 岐阜県瑞浪市  
寺河戸町1043-2  
☎0572-67-2222  
FAX 0572-67-2230

編集責任者 瑞浪商工会議所  
広報委員長 会  
購読料 1部30円  
印刷 丸理印刷株式会社

祝 瑞浪市制70周年 新年号特集

## さあ、つくろう 私たちの時代



瑞浪市立 土岐小学校 5年生（辰年生まれの子どもたち）

新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
日頃は瑞浪商工会議所の事業・運営に対し格別のご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。  
また、昨年は会議所内組織改革を進める中、関係者の皆様には中小、小規模事業者への支援と地域活性化に力を注いでいただき厚く御礼申し上げます。  
新型コロナウイルス発生から4年が経過しようとしておりますが、国内ではコロナウィルスの感染はあるものの5類に引き下げられ以前のような爆発的感染はなくなり、仲間同士の集まりや地域イベントの復活等、日常生活の活気が戻っているように思います。  
ビジネスにおいても、会議や商談が対面で行われることが増え、セミナーや展示会の通常開催等、



会頭 景山 助夫

経済活動の正常化も加速しております。  
このような明るい兆しが見られる一方、海外ではロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮による度重なるミサイル発射、ハマスとイスラエルの戦争も重なり世界的なインフレなど予測困難な状況が続いております。  
また、円安の影響などの複合的な要因による物価上昇や、資材高騰による建設コストの上昇、原材料価格の高騰や「ゼロゼロ融資」の期限到来など、中小・零細企業はまだ厳しい状況に置かれております。  
倒産件数は昨年から建設業・運送業等、資材高騰・エネルギーに影響される業種の倒産が目立つようになりました。特にこの地域では自然減と社会減の両方の人口減少に伴い、働き手が減少し地域消費が低迷するなど、地域経済の疲弊に拍車をかけております。  
時代の転換点にある今こそ経営者は自己変革に果敢に挑戦し、未来を切り拓く必要があります。そして、我々、商工会議所は「多様な主体の連携拠

点」として、会員事業所と地域の発展に全力で取り組む必要があります。  
昨年9月に発足した「第2次岸田再改造内閣」には、抜本的で将来に繋がる経済対策を、日本商工会議所と連携し要望してまいります。  
瑞浪商工会議所は昨年よりDXの推進を行い、いち早く的確な情報提供ができるようまでまいりました。若手経営者との意見交換会は第一ステージから第二ステージに入り、更なる課題のあぶり出しとその対策についての議論を進めております。今後も、事業承継や創業支援、地域活性化などを関係諸団体と連携し、積極的に取り組むよう努めてまいります。  
今年7月、商工会議所の創設者である渋沢栄一氏が、新一万円札の肖像画となります。渋沢氏の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に改めて学び、我々民間が新しい視点から積極的に改革に挑み、新しい時代を皆様とともに切り開いてまいります。  
今年も皆様の多大なるご支援をお願いいたしまして年頭のご挨拶いたします。  
(執筆日：令和5年11月23日)

新年挨拶  
「逆境の時こそ、力を尽くす」



迎春

新しい年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。瑞浪商工会議所では、毎年新年号で瑞浪の未来についての特集を掲載しております。

瑞浪市制70周年を迎える今年は、小学生と、市内多方面でご活躍の方々に寄稿いただきました。

新年号特集①

小学生が願う

「瑞浪のこれから」

今回は、表紙写真にある土岐小学校5年生の皆様に、ふるさと・瑞浪への想いや願いを書いていただきました。代表として2名の作文をご紹介します。



元気な街になるように

土岐小学校5年 狩野 暁琳

私は、瑞浪市に病院が増えてほしいです。先月の後半に、私のおじいちゃんが救急車で運ばれてしまって入院することになってしまいました。しかし、瑞浪市に入院できるスペースがなく、愛知県の春日井市にある病院

で入院することになりました。春日井市は、瑞浪市からも遠いため、なかなかおじいちゃんにも会いに行けませんでした。

私のおじいちゃん以外にも、瑞浪市のお年寄りの認知症のおばあちゃんや、がんのおじいちゃんなど、色々な病気などを持っている方々のためにも、瑞浪市には、もっとたくさん

文化センターの利用

土岐小学校5年 石原 奏実



私は、文化センターのイベントやコンサートをもっと増やしたほうが良いと思いました。理由は、イベントがあると

きはたくさんのお客さんがいるけれど、なにもないときはほとんど人がいないからです。私は毎週土曜日に習い事で利用しています。毎週行くとお客さんが誰もいないのです。だからあまり活気がない

と思ったので増やした方が良いと考えます。でも「なかなか企画や開催ができないのでは」と思う人もいると思います。ですが、一カ月に一回、一般市民の方々が「こういうイベントをやったらどうでしょうか」や「このアーティストさんを呼んでコンサートを開催してみてもいいかなど、意見を聞く日を設けてみれば良いと思います。一方でイベントがある日に行ってみると、ホワイエにはたくさん人がいて「コンサー

ト、楽しかったね。」や「この人、すごくキレッキレだったね。」「またこの人のコンサートを見に行きたい。」などたくさんのかんせいの声が聞こえてきてみんなの気持ちがウキウキしてきてこっちらで同じ気持ちになってしまします。

このように、文化センターの利用が減っているため、もっと増やすために様々なキャンペーンを行ったり、一般市民の意見を聞いたりして、たくさんの方に足を運んで瑞浪市の良さを知ってもらい「こんな良いところがあったんだ」「また、来たいな」と思ってもらえたら良いと思います。

ト、楽しかったね。」や「この人、すごくキレッキレだったね。」「またこの人のコンサートを見に行きたい。」などたくさんのかんせいの声が聞こえてきてみんなの気持ちがウキウキしてきてこっちらで同じ気持ちになってしまします。

初めは「ちゃんと成功するのか」、「結果を残すことができるのか」と不安でいっぱいでしたが、地域のイベントに参加したり、企画、実行していくうちに仲間と協力して目標に進んでいくことの大切さと楽しさを実感できるようになりました。

抱えていた不安も今では、前例がないからこそ私たちが土台を作った今後の活動の幅を広げていきたいと思っています。

若者からお年寄りまでどの世代も楽しく笑い合えるような「地域愛のあるまち」にできるよう、私は今後も瑞浪の未来に向かって活動していきます。

新年号特集②

祝 瑞浪市制70周年

「これからの瑞浪を漢字一文字で表すと？」

記念すべきこの年の初めに、各分野で活躍される皆さんが思い描く瑞浪市の未来について、自由に書いていただきました。漢字一文字に託した想いとその理由はさまざまです。皆さんならどんな漢字が思い浮かびますか？

私たちが創る瑞浪の未来

瑞浪市役所「ミライ創ろまい課」中京高等学校2年 窪田 李音



私がこれからの瑞浪を漢字一文字で表すとしたら「創」です。つくるという言葉は、「作る」、「造る」、「創

る」の3つの漢字で表すことができます。「作る」は有形、無形をつくること、「造る」は大きいものをつくること、そして「創る」は新しいものを作るという意味があります。瑞浪市では今後、駅周辺の再開発や道の駅

の設立が予定されています。私たち若者世代は新しいものが好きなので、楽しめと言う気持ちでいるのですが、新しいことや物を作っていくだけではなく、瑞浪市の歴史や文化、そして人の温かみを残していく街にしたいです。

私は現在、瑞浪市役所「ミライ創ろまい課」に所属しています。ミライ創ろまい課は、中京高校、麗澤瑞浪高校、瑞浪高校の3校の学生により結成された学校の枠を超えたまちづくりチームで、市と協力しながら、私たち学生が、自ら事業を企画から実行まで担い、瑞浪市の魅力向上や課題解決に向けた活動をしています。

瑞浪市はとても住みやすく、地域の人々もとても温かく、将来も住み続けたいと思えるいい街です。

私を育ててくれた瑞浪市の良き歴史の道を繋いで「進み」つつも、時代と地域のニーズに合った「進化」を続けて行くことこそが、次世代の担い手である私たちに求められる姿勢であると言えるのではないのでしょうか。

進

進み、進化する瑞浪市

中京学院大学看護学部4年 奥村 真以



私がこれからの瑞浪市を一言で表すとすると、「進」です。

私が住んでいる瑞浪市は、自然が沢山あり空気も美しく、地域住民にとっても住みやすい街です。しかしながら、昨今の少子高齢化に伴い、高齢者の方が増えていく中で、

交通の手段が少ないといった改善されるべき点も挙げられます。特に市の中心街から離れた街では、その傾向は顕著で、人口も少ないのが実状で、もっと瑞浪市を活発に発展・進化させていくことが大切だと考えました。

最近、駅前ではグループ屋さん等の新店舗が散見できるようになり市が活発になっていく部分もあるものの、より一層の活性化が望

まれます。自然豊かな瑞浪市は、その自然を活かしてアピールしていくのも良いかもしれませんが、駅から離れた所にもたくさんの方々が住みやすいものがあるのでは是非見に来たり食べに来たりして欲しいです。

また、瑞浪市ではバサラのお祭りがありません。私も高校生の頃に参加しとても楽しく参加することができ、沢山の人が賑わっていたことを思い出します。新型コロナウイルスで中断を余儀なくされたものの、最近では日常を取り戻し

つつあることから、お祭りで瑞浪市をアピールして、もっと多くの人に瑞浪市を知ってもらいたいと思います。

瑞浪市はとても住みやすく、地域の人々もとても温かく、将来も住み続けたいと思えるいい街です。

私を育ててくれた瑞浪市の良き歴史の道を繋いで「進み」つつも、時代と地域のニーズに合った「進化」を続けて行くことこそが、次世代の担い手である私たちに求められる姿勢であると言えるのではないのでしょうか。